

世田谷区立希望丘小学校増築等基本設計(案)について

(付議の要旨)

世田谷区立希望丘小学校の増築等について、基本設計(案)を取りまとめたので、報告する。

1 主旨

希望丘小学校については、中長期的に児童数が著しく増加し、教室数が不足することが予測されている。このため、平成29年9月に「世田谷区公共施設等総合管理計画」の考え方に基づき増築等の整備方針が決定され、その後設計を進めるとともに耐震診断を実施し、耐震強度の不足等についての診断結果を平成30年4月に報告したところである。このたび、増築工の基本設計(案)を取りまとめたので、その概要を報告する。

2 基本設計の概要

(1) 基本設計等の内容について

増築棟に普通教室10室を確保し、1階に防災倉庫、配膳室、多目的トイレ、学校倉庫、2階に教材室、配膳室、会議室を整備する。

特別教室棟から増築棟に渡り廊下を1階と2階に設け、増築棟1階西側には体育館へのユニバーサルデザインを考慮した経路を確保する。

児童数増によるクラス増のため、増築棟完成前に既存校舎の内部改修を行い3教室確保する。また、食数増に対応するため、給食室の改修工事を平成30年度、平成32年度に行う。

校庭芝生広場に増築棟を配置するため、増築棟の屋上については児童の活動スペースを確保する。

(2) 整備方針からの変更点

既存校舎棟4階の図書室から普通教室2室を確保する改修設計を進めていたが、構造性能が十分に確保できないことが判明したため、隣接する第一音楽室を普通教室2室へ改修するが、改修に伴い梁補強及び屋上防水等を行う必要もあり、平成30年度に1室、平成31年度に1室と段階的に確保する。なお、図書室は、第一音楽室に今年度改修する。

平成31年度当初に普通教室を2室確保する必要があるところ、の理由から、1室しか確保できないため、臨時に3階の特別支援教室を普通教室に改修し、2室確保する。

児童数増が続いており学年毎のクラス配置を柔軟に行うため、増築棟1階に整備する予定だった新BOP室を普通教室とし、既存校舎2階に新BOP室を移転する。

耐震診断の結果に伴い、工事期間中の児童の活動スペースを少しでも確保するため、プール棟更衣室を多目的に使用できる室に改修する。

延床面積が増えることなどに伴い既存受変電設備の容量では足りないことが判明し、加えて設備の更新時期も近いことから、前倒しで受変電設備の更新を行う。

その他、給食室改修工事、既存建物適法化改修工事については、基本設計により改修方針が固まり改修費用が積算できたため、費用に追加する。

(3) 耐震問題に伴う対応について

- ・現在、使用を中止している既設体育館については、改築等を含めて検討を行ってきたが、耐震補強を施し建物を利用していくこととし、耐震補強設計を進め、今年度内に第三者機関による評定を取得する。平成31年度中には、Is値0.75以上となる耐震補強工事を完了する。
- ・既存校舎棟については、教室化や増築棟への経路を整備するにあたり、既存建物適法化改修工事とともに耐震スリット工事を今年度先行して実施する。平成31年度の夏休み中までにIs値0.75以上となる耐震補強工事(ブレースの設置等)を完了する。

(4) 建築概要

所在地(住居表示)	世田谷区船橋4-9-1
敷地面積	10,108.19㎡
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第一種住居専用地域
構造・階数(増築棟)	鉄骨造、地上2階建て
建築面積	約750㎡
延床面積	約1,450㎡(校舎約1,380㎡、渡り廊下約70㎡)
主要室の構成	
(増築部分)	普通教室(10)、防災倉庫、エレベーター等
(改修部分)	第一音楽室、図書室、給食室、新BOP室、プール棟更衣室等

(5) 概算事業費(設計費、増築工事費、改修工事費、耐震補強工事費)

約14.1億円

(内訳)設計費	: 約1.0億円
増築工事費	: 約6.2億円
改修工事費	: 約4.6億円
耐震補強工事費	: 約2.3億円

外構整備費等は含んでいない。

新たな事業費として、既存校舎棟教室化工事(音楽室、特別支援教室、BOP室、プール棟更衣室)、給食室改修工事、既存建物適法化工事(延焼の恐れのある部分の建具改修、竪穴区画整備のための防火シャッター新設、4階教室・廊下の排煙確保にともなう建具改修、日影規制抵触部分解消のための屋上フェンスやり替え等)、耐震補強工事、受変電設備更新等を見込んだ。

(6) 補助金申請予定額

増築工事

約0.43億円[公立学校施設整備費負担金(算定割合:1/2)]

耐震補強工事

約0.34億円[学校施設環境改善交付金(算定割合:2/7)]

申請予定額は、特定の算定方法により算出した配分基礎額と実工事費の少ない方の額に上記算定割合を乗じて算出した。

(7) 施設維持管理費(増築分)

約500万円/年

小中学校(一部除く)の過去3ヵ年決算額平均値(光熱費、修繕費、委託費)の㎡単価から試算

3 工事工程

平成30年度 実施設計

改修工事(既存建物適法化工事、給食室改修工事、校舎棟耐震補強工事他)

平成31年度 増築工事、改修工事(校舎棟耐震補強工事、体育館棟耐震補強工事)

平成32年度 増築工事、改修工事(給食室増床改修工事、BOP室化改修工事)

4 今後のスケジュール(予定)

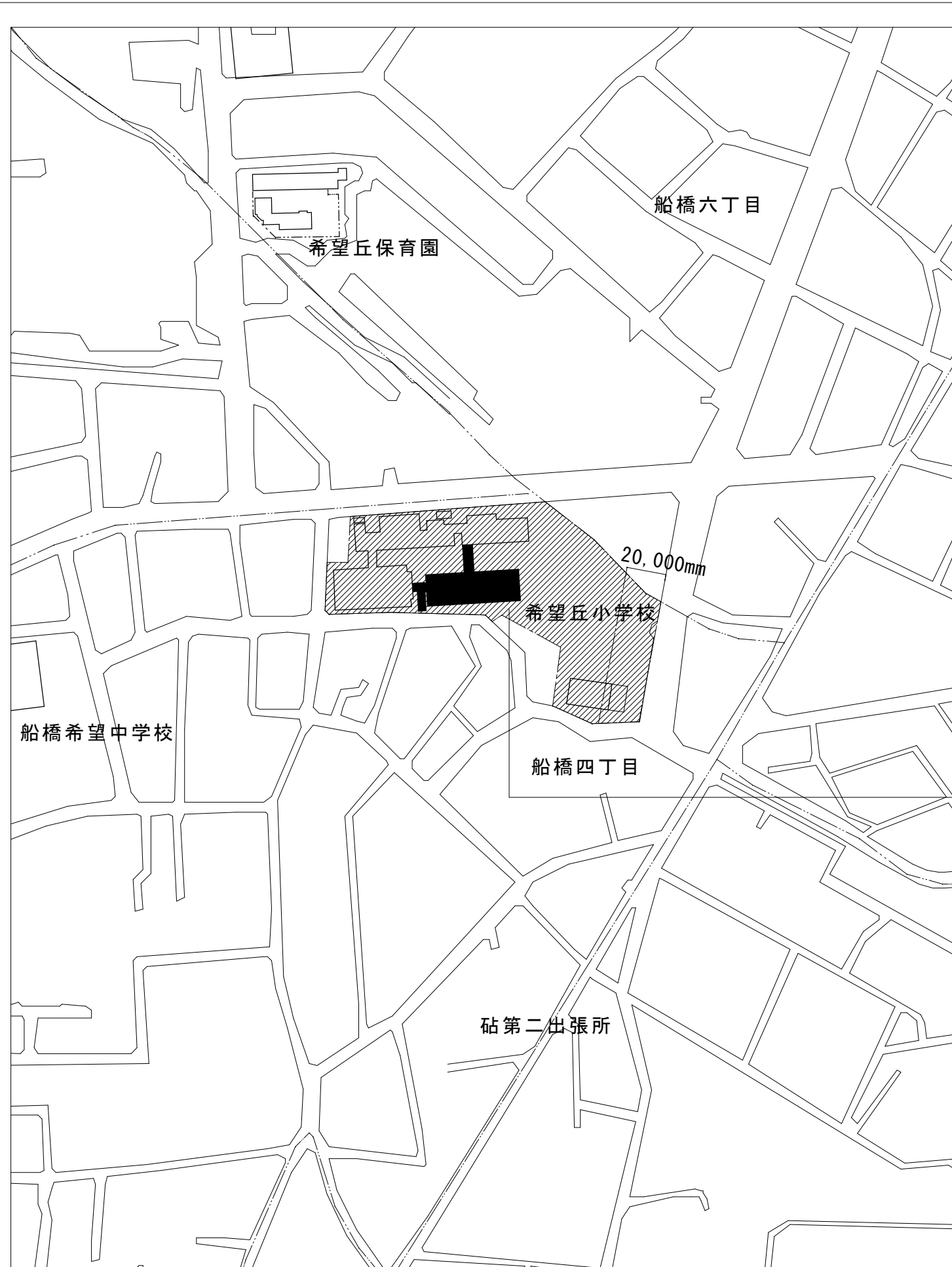
平成30年8月28日 教育委員会

9月 文教常任委員会

(参考)年次ごとの児童数の推移・推計及び具体的な取組み

年度	29	30	31	32	33	34	35	36
児童数	422	474	528	550	609	642	686	704
必要学級数	14	15(当初) 16(現在)	18	19(当初) 18(現在)	19	21	21	22
整備する普通教室数	2(改修)	2(改修)	1(改修)	-4(復元) 10(増築)	0	0	0	0
普通教室に 転用可能な 教室数	0	0	0	1	6	4	4	3
改修	学習室(1)、 第2音楽室 (1)	第1音楽室 (1)、給食 室、特別支 援教室(1)	第1音楽室 (1)	第2音楽室 (-1)、特別 支援室(-1) 給食室、B OP室(-2) 等				
増築	● 基本設計	●● 実施設計	●● 増築工事	●● 増築工事				

(児童推計及び必要学級数は平成30年5月1日現在のデータに基づく推計値)



案内図 1/2500

増築部分建築概要

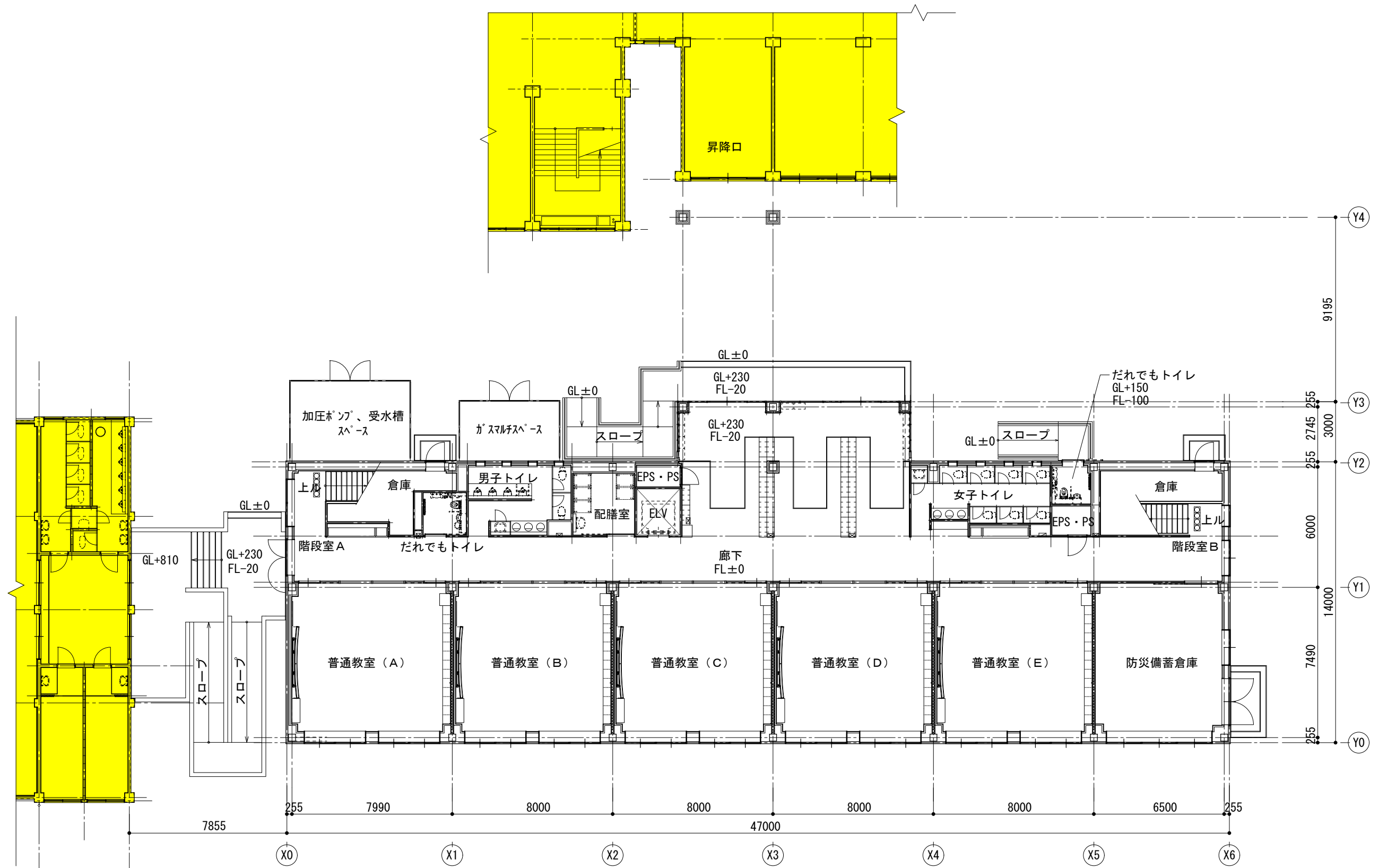
工事名称	世田谷区立希望丘小学校増築工事
所在地（住居表示）	世田谷区船橋4丁目9-1
所在地（地番地名）	世田谷区船橋4丁目2-1、3、4、5、6番地
地域地区	幹線街路補助街路215号（東）より20m外 準防火地域 用途地域：第一種住居地域 建蔽率60% / 容積率200% 日影制限 5m/5.0時間 10m/3.0時間 測定高さ4.0m 45m第2種高度地区
敷地面積	10,108.19㎡
構造・階数	鉄骨造 地上2階
建築面積	747.67㎡
延べ面積	1,443.90㎡
解体	22.27㎡

増築棟 建築面積表 (㎡)

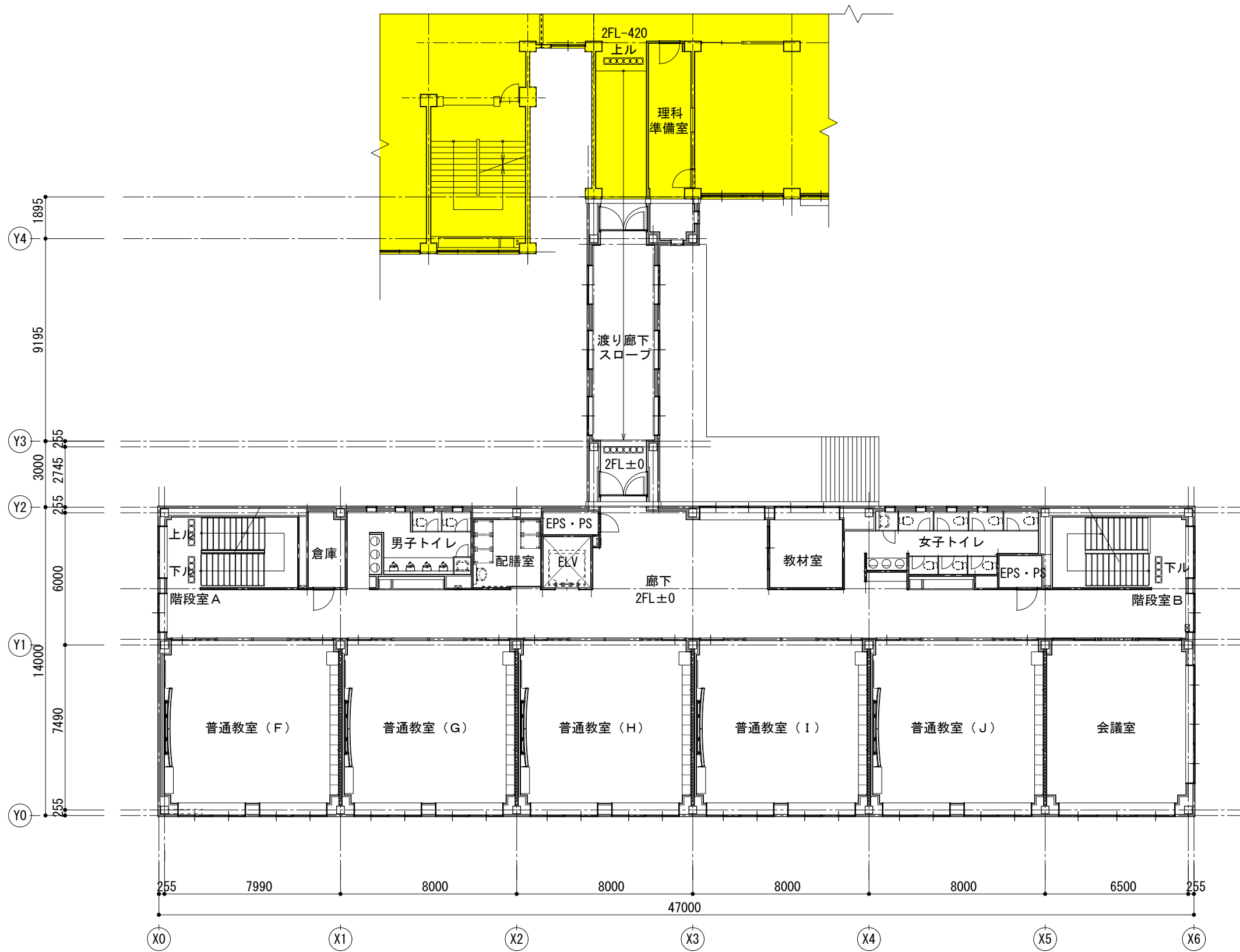
用途	構造	1階	2階	3階	延べ面積	建築面積
小学校	鉄骨造	710.10	707.10	26.70	1,443.90	747.67

建設地

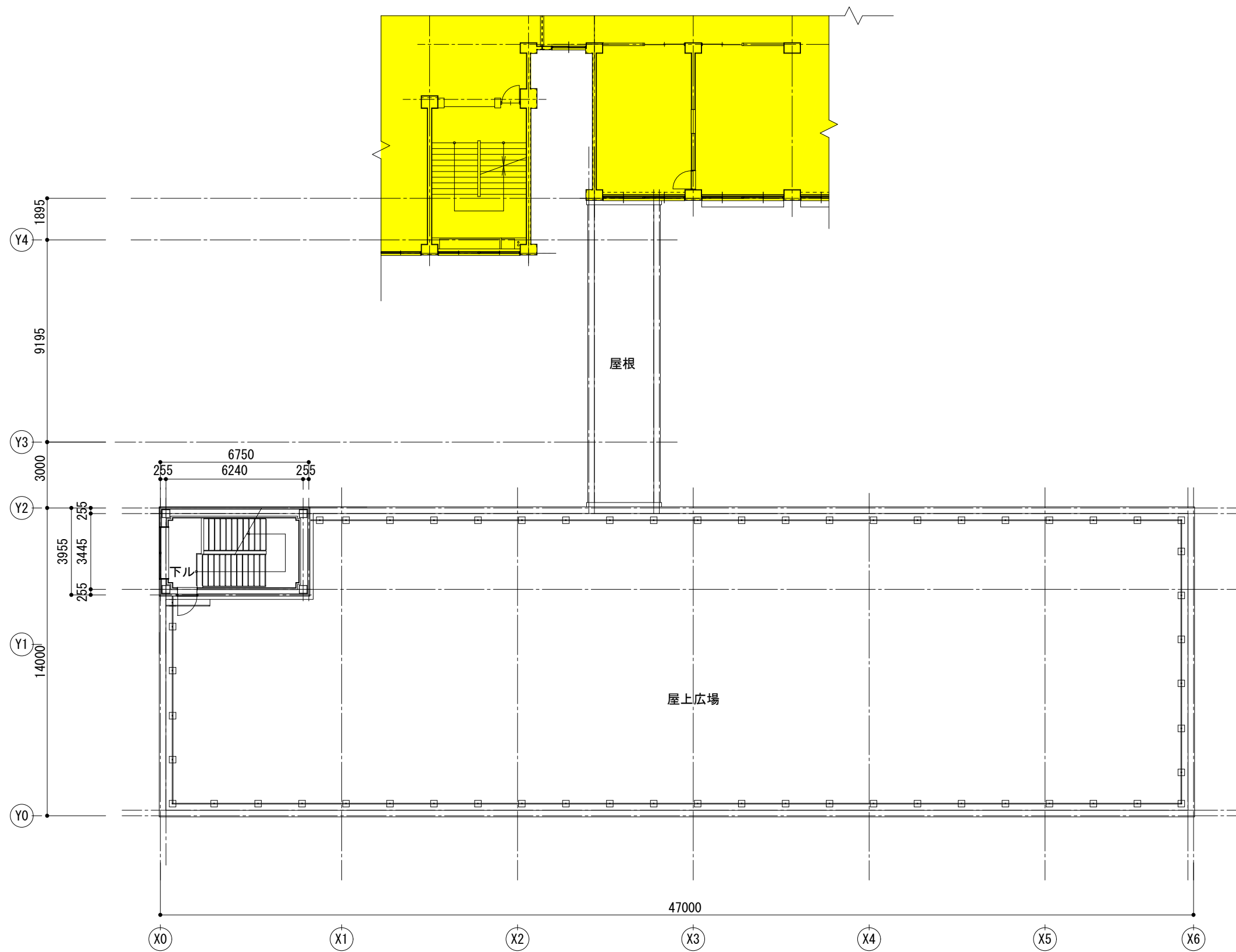
住居表示：世田谷区船橋4丁目9番1号
地番地名：世田谷区船橋4丁目2-1、3、4、5、6番地



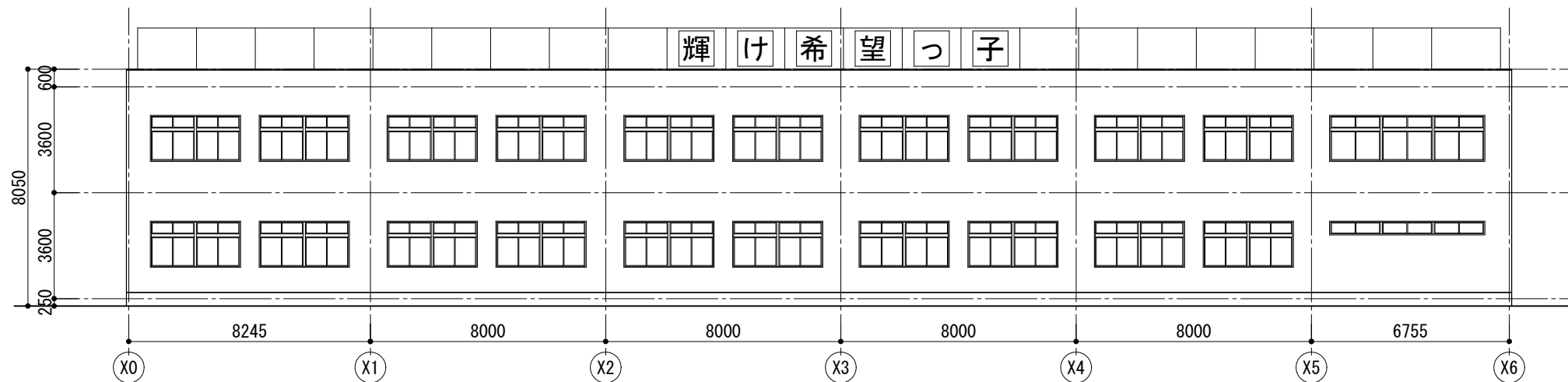
1階平面図 S=1/200



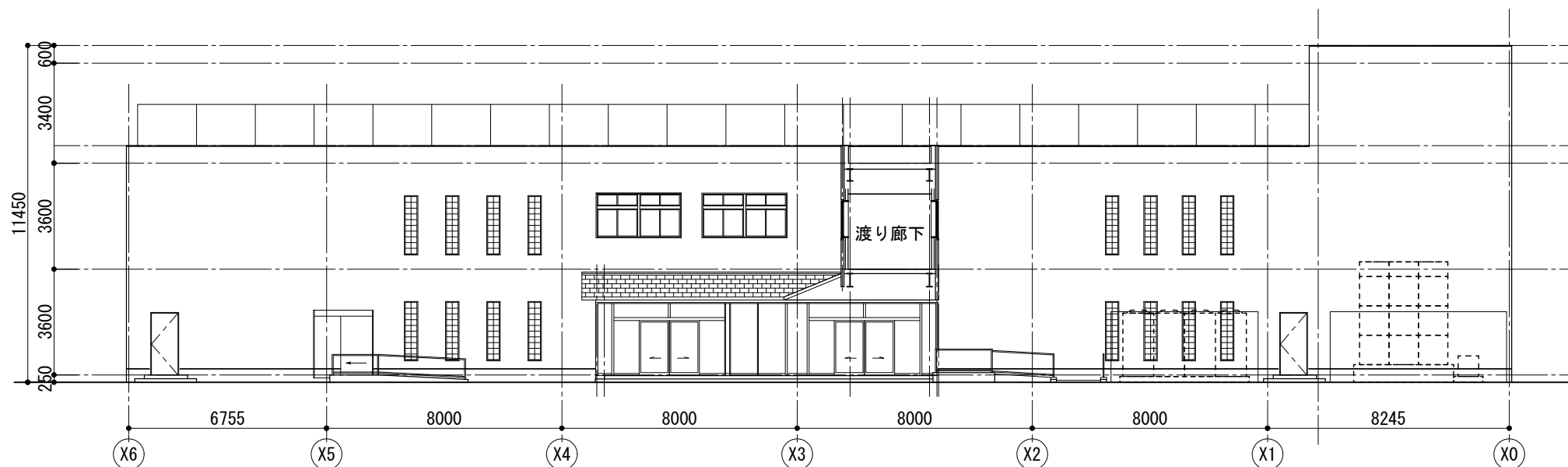
2階平面図 S=1/200



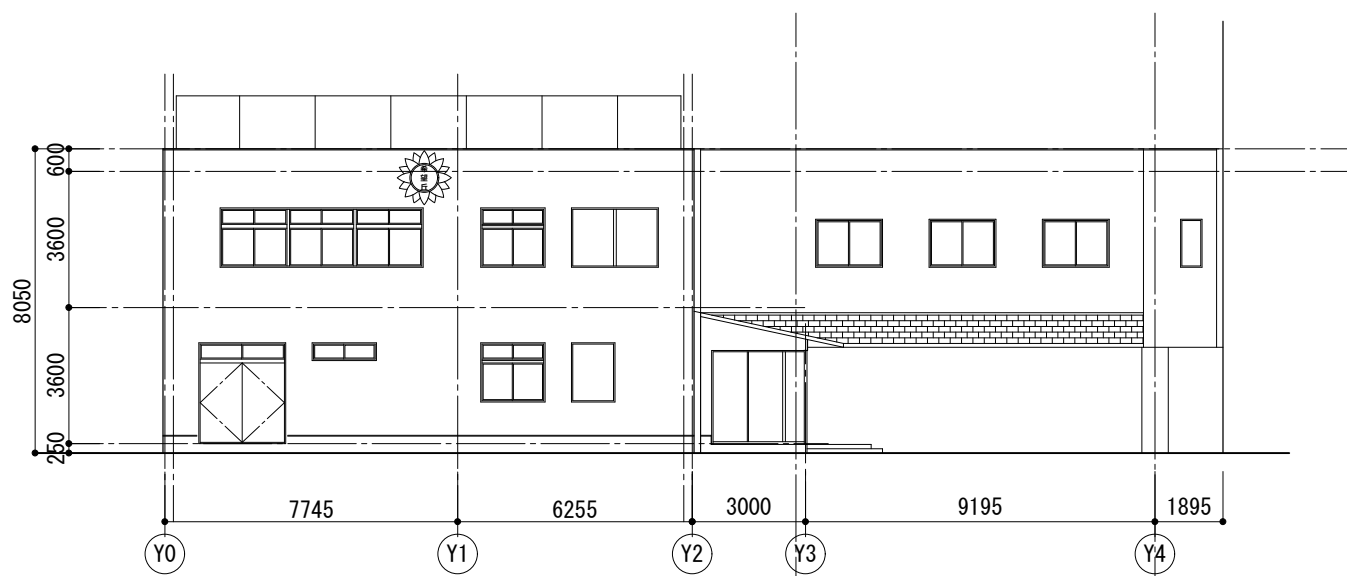
R階平面図 S=1/200



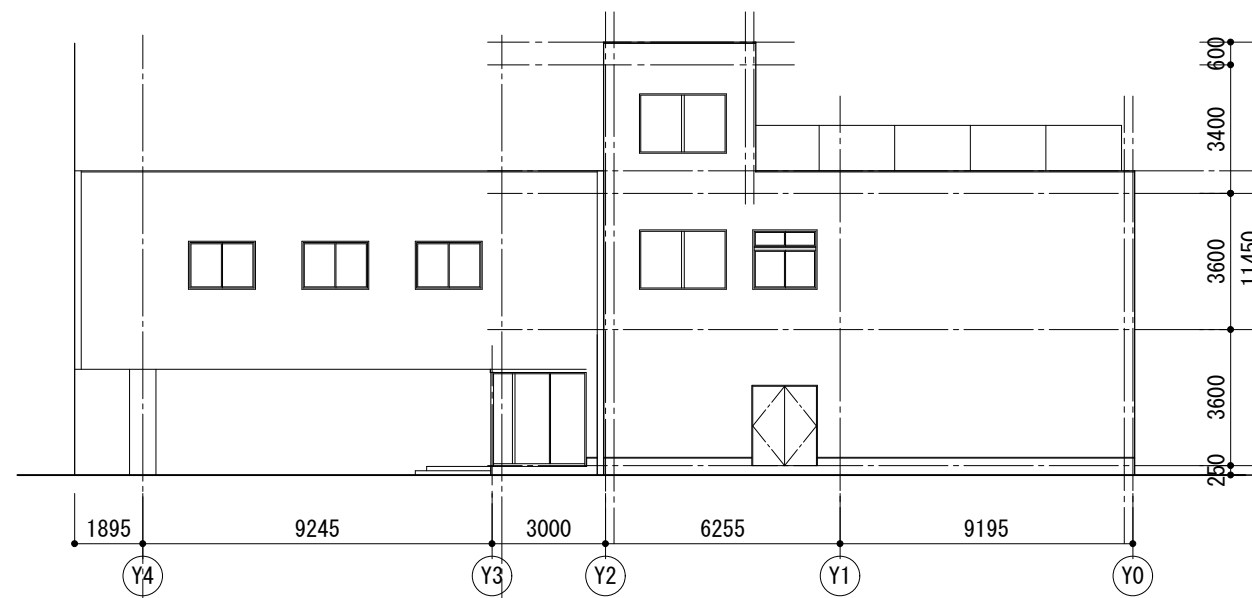
南側立面図 S=1/200



北側立面図 S=1/200



東側立面図 S=1/200

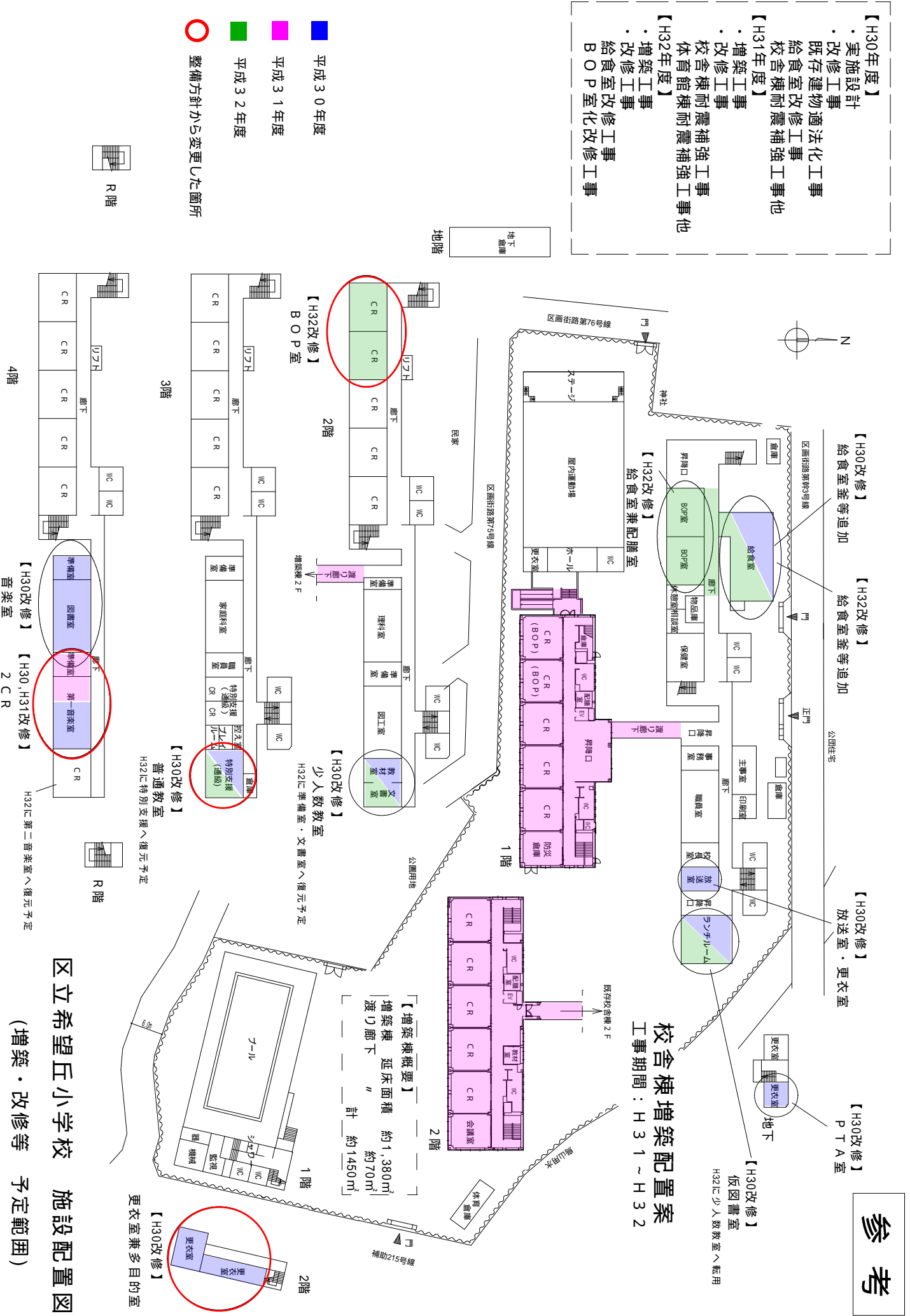


西側立面図 S=1/200

参考

- 【H30年度】
 - ・実施設計
 - ・改修工事
 - ・既存建物適法化工事
 - ・給食室改修工事
 - ・校舎棟耐震補強工事他
- 【H31年度】
 - ・増築工事
 - ・改修工事
 - ・校舎棟耐震補強工事
 - ・体育館棟耐震補強工事他
- 【H32年度】
 - ・増築工事
 - ・改修工事
 - ・給食室改修工事
 - ・BOP室化改修工事

校舎棟増築配置案 工事期間：H31～H32



【H30改修】
給食室蓋等追加

【H32改修】
給食室蓋等追加

【H30改修】
放送室・更衣室

【H30改修】
PTA室

【H30改修】
仮図書室
H32に少人数教室へ転用

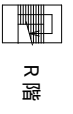
【H32改修】
BOP室

【H30改修】
少人数教室

【増築棟概要】
増築棟 延床面積 約1,380㎡
渡り廊下 約70㎡
計 約1450㎡

【H30改修】
更衣室兼多目的室

- 平成30年度
- 平成31年度
- 平成32年度
- 整備方針から変更した箇所



区立希望丘小学校 施設配置図

(増築・改修等 予定範囲)

